



FUNDINNO



©FUNDINNO Produced by Japan Cloud Capital, Inc.





代表取締役COO

大浦 学

明治大学大学院グローバルビジネス研究科でマーケティングを研究し、同研究科で柴原(現JCC代表取締役CEO)と出会い、ベンチャー企業の育成に貢献したいというお互いの理念が一致。2012年5月にデジタルコンテンツの企画・立案・製作・開発を行うIT会社を創業し、2年目に黒字化を達成。地域活性化アプリの開発から自治体との関係性が深まり、箱根町の支援を受けた一般社団法人はこねのもりコンソーシアムジャパンに、2014年1月に理事として参画し、同法人の会員管理システム及び、UI/UXの設計を含めての包括的なWEBシステムの開発を行う。イベントの集客からWEBマーケティング、SNSマーケティング、CRM(顧客関係管理)などユーザーの満足度・ロイヤリティを高める実践マーケティングに特化。2015年11月より株式会社日本クラウドキャピタルの代表取締役COOに就任



社名	株式会社日本クラウドキャピタル
本店/事業所所在地	東京都品川区東五反田5-25-18
設立	2015年11月26日
資本金	3億9360万1570円(別途資本準備金：1億7840万1470円) (2018年4月27日現在)
事業内容	第一種少額電子募集取扱業務による募集の取扱い、人材のマッチングサービス、大手企業とベンチャー起業家とのマッチングサービス
登録	金融商品取扱業者（第一種少額電子募集取扱業者）関東財務局長（金商）2957号
加入協会	日本証券業協会
代表取締役	柴原祐喜、大浦学
取締役	二又浩、平石智記、松田悠介、守屋実
監査役	村主佳隆、金井重高、森田亮介
顧問弁護士	西村あさひ法律事務所
信託銀行	日証金信託銀行
取引金融機関	三菱東京UFJ銀行、横浜銀行、西武信用金庫、楽天銀行
アドバイザー	出井伸之



フロントオフィスには、大浦を中心としたWebマーケティング専門家集団により集客を行い、法人への対応は金融機関・コンサルティング出身の人材が対応。
バックオフィスは、ベテランの金融機関出身の人材を配置している。

フロントオフィス

Webマーケティング



システム開発



金融機関
コンサルティング
出身者



バックオフィス

金融機関出身者





About FUNDINNO

株式会社日本クラウドキャピタルのビジョンについてご説明をさせていただきます。



	種類	拠出先	会計処理 (投資側)	会計処理 (運用側)	主な規制
非投資型	寄付型 Donation	個人や団体による社会 貢献	寄付金	寄付金収入 受贈益	特になし
	購入型 Reward	企業や個人による商品 など	前渡金	前受金 (売掛金)	特定商取引法
投資型	株式型 Equity	ベンチャー企業	投資有価証券	資本金 資本準備金	金融商品取引法 (第一種少額電子募集取扱業)
	ファンド型 Revenue Share	匿名組合を通じ事業に 出資	出資金	匿名組合預金	金融商品取引法 (第二種金融商品取引業)
	融資型 Lending	匿名組合を通じ中小企 業などに融資	出資金	借入金 (負債)	金融商品取引法 (第二種金融商品取引業) 貸金業法



FUND



INNOVATION







累計資金調達額 **1,016,910,000円** (2017年4月～2018年6月12日時点)

投資家と事業者のマッチングサイト 🏠 トップ 👤 ? ヘルプ

FUNDINNO 🛡️ 初めての方へ 🔍 プロジェクトを探す ⚠️ 投資に関するリスク・留意点等

移動を無料に！未来の移動体験配車サービス「nommoc（ノモック）」



移動を無料に

nommoc

約定金額

50,000,000円

目標募集額 16,000,000円
上限応募額 50,000,000円

約定金額 50,000,000円

👤 投資家 254人

終了しました

[プロジェクト詳細](#)
[事業者・募集情報](#)
[企業のリスク等](#)
[事業計画](#)
[審査内容](#)
[契約締結前交付書面](#)

リアル広告のターゲティング最適化モデルを、国内初となる「車移動の無料化」につなげる





投資家と事業者のマッチングサイト

ヘルプ



初めての方へ プロジェクトを探す 投資に関するリスク・留意点等

素晴らしい感動体験をお届けする



SKR

海外で話題のIoT商品を国内で流通させる！



株式会社SKR

IoT

目標募集額 30,000,000円

82%

投資家 178人 残り 34日

募集金額の合計

ピックアッププロジェクト

全ての人が笑顔で
ファッションを
楽しめる世の中を目指して



素晴らしい感動体験をお届けする



全ての人が笑顔で

ファッションを

楽しめる世の中を目指して

aiemuyu



集まっている金額

32,200,000円

目標募集額 19,000,000円

上限応募額 34,000,000円

169%

投資家 237人

残り 55日

投資コースを選択する

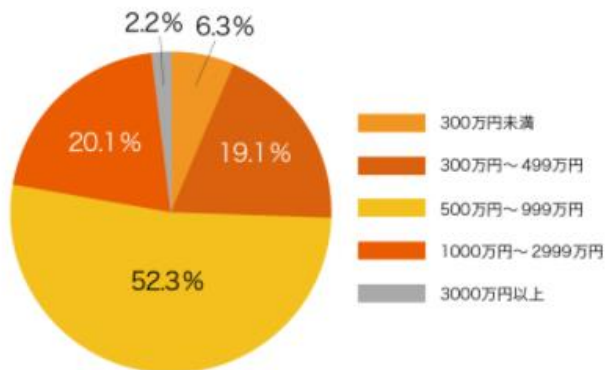
募集期間

プロジェクト詳細 事業者情報 募集情報 企業のリスク等について 事業計画 審査内容

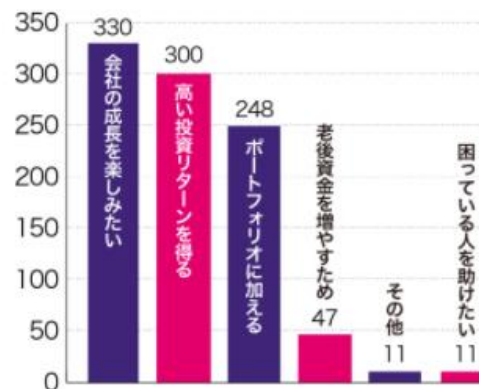




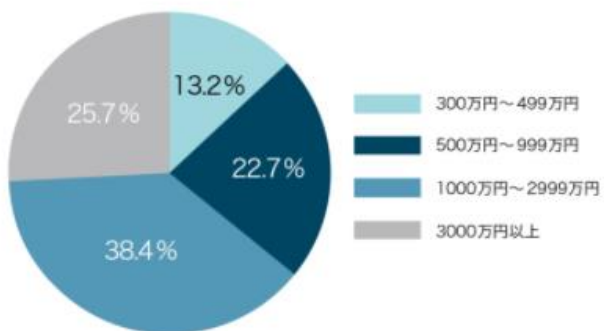
投資家の収入



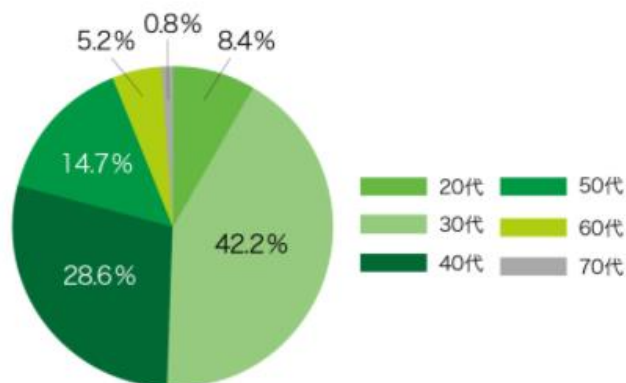
投資目的



投資家の資産



投資家の年代





FUNDINNO事例紹介

クラウドファンディング業界と市場環境についてのご説明



事例 1 : BankInvoice社

About FUNDINNO

～日本で初めて株式投資型クラウドファンディングで資金調達をしたBank Invoice手島社長の想い～『株主は自社の資産であり賛同者』

📅 2018年3月8日

Bank Invoice 株式会社

代表取締役 手島 太郎



WEB上で、作成から送信、受信、保存まですべてが完結するシステム設計

会社名	申込開始日時	目標到達日時	上限到達日時 (募集期間終了日)	調達金額	株主
Bank Invoice株式会社(1回目)	2017/4/24 5:00	2017/4/24 6:42	2017/04/24 8:26	14,600,000	87名
Bank Invoice株式会社(2回目)	2017/11/30 19:22	2017/11/30 19:33	2017/11/30 20:39	59,750,000	307名



事例 1 : BankInvoice社

About FUNDINNO

国内初となる株式投資型クラウドファンディングを成功させた企業がIPOを目指す

日本で第1号となる第一種少額電子募集取扱業の登録承認を受けた日本クラウドキャピタルが運営する『FUNDINNO（ファンディーノ）』での最初の案件がBank Invoice株式会社です。同社は請求書原本そのものを電子化して共有するソフトを開発しています。同社のソフト導入により、経理業務の95%を削減できる可能性があります。同社は、『FUNDINNO（ファンディーノ）』を通じて、第1回の資金調達後、システムのリリースを完了し、計画通りに事業が進んだ背景から、早期に第2回の資金調達を行っています。手島社長は、資金調達の方法が多様化することで、ベンチャー企業の資金調達環境が少しずつ改善されている状況を実感しつつ、『クラウドファンディングでの資金調達の方法に意義を感じている』とのこと。中でも、『株式投資型クラウドファンディングによる資金調達において、日本で最初の事例である同社がIPOを目指す』ことに、自社の存在意義を強く意識されています。



株式投資型クラウドファンディングをきっかけに認知度が高まる

クラウドファンディングでの資金調達により開発資金ができ、システムの精度を高めることができただけではなく、『知名度が上がった』ことが同社にとってメリットが大きかったと感じているようです。『日本で初めて株式投資型クラウドファンディング』で資金調達したという話題から、営業の際にも関心を持つ企業もあるようです。

これから株式投資型クラウドファンディングを活用される経営者の方々へ

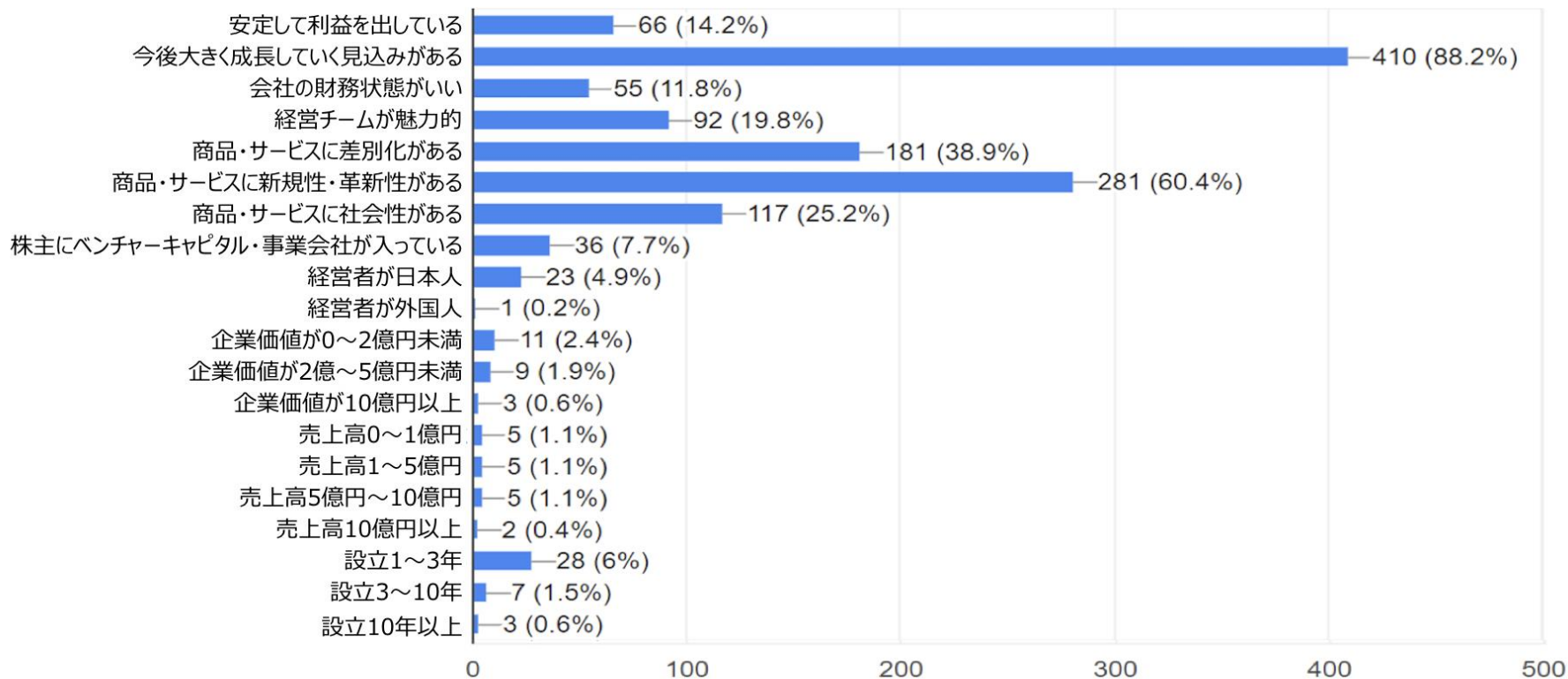
『株式投資型のクラウドファンディングで募る投資家は、理想的な株主だと思っています。そもそも、株式投資とは「応援企業の株を購入」するというのが本来の姿です。株式投資型のクラウドファンディングにより、上場前から自分の会社の賛同者であり応援者と出会えたことに感動しています。会社を立ち上げた時は、創業メンバーの数人しか自分のビジネスモデルの賛同者はいない状況でした。「FUNDINNO（ファンディーノ）」で資金調達をしたことにより、現在は400名近い株主が支援者として見守ってくれています。応援してくれる仲間ができたのです。株主の皆様には還元したいという思いも強く、エンジェル税制を申請し適用を受けています。そして今、自分ができることは、トップ営業として『突破口を開く』ことです。これにより、大手導入の実績を積み重ねていくことだと思っています。また、株主の皆さまに事業経過の報告を行い、コミュニケーションを深めていきたいと思っています。応援者である株主の存在により、「どんな状況でも実績は自分が作る」という強い思いをサポートしてくれます。』



投資家アンケート

投資判断をする際、何を重視していますか？

465件の回答（重複解答の集計）





第3号案件 クラウドファンディングで『共感して頂ける方々』を募る～株式会社オールユアーズ 木村代表～

📅 2018年3月23日



会社名	申込開始日時	目標到達日時	上限到達日時 (募集期間終了日)	調達金額	株主
株式会社オールユアーズ	2017/7/31 23:55	2017/8/1 8:14	2017/8/1 12:21	32,375,000	197名



事例 2 : All yours社

About FUNDINNO

共感頂いた方々=株主

同社は問題解決型の商品を企画開発する企業です。洋服を『耐久消費財』ととらえる、木村社長は、「トレンド感がなく」「シンプルで」「ストレスがなく」「ずっと着られる」ものを開発、販売するというビジネスモデルを掲げています。

同社は、『カスタマーから評価されるプロダクトを持っている』という状態を作ることが望ましいと考え、新規性があるものを、新規性を評価するマーケットで売ることによってチャレンジしたことが、購入型クラウドファンディングを始めたきっかけです。

そこには、ファンコミュニティを形成するという考え方が根底にあります。共感頂いた方々（ステークホルダー）を募るという意味では株主さんも同じだという考えのもと、株式投資型のクラウドファンディングを活用したようです。

木村社長は、『金額の大小ではなく、応援してくれる方の人数が多い方が価値がある』と考えおり、また、『自らの資金を使って応援してくれる人は、コンシューマーでも株主でも』我々に共感頂いた方々であり大切な存在であるという点で同じだとのこと。



投資家との交流

『FUNDINNO（ファンディーノ）』を活用してからTwitter・Facebookなどで株主さんとも交流が増加したといいます。株式や仮想通貨に投資している投資家さん周りにも認知度が高まり、既存の購入型のクラウドファンディングとは違った、新しい層が取り込めた側面もあるようです。

FUNDINNOの投資家さんが、購入型のクラウドファンディングで商品の購入をしたり、イベント開催費用への投資や、店舗への来店などもあり、実際に投資家さんとの交流が増えたことに喜びを感じているようです。

『未来に希望があるものにお金を使いたい』という、共感頂いた方々の『成長過程と一緒に見たい』という思いに応えるためにも、さらに事業を拡大していきたいと強く決意しているようです。

透明性があることは価値『全て見せちゃおう』

木村社長はECサイトでも『全て見せちゃおう』というアイデアが生まれたそうです。いつアイデアを「発想」して、どこで、誰と作っているかも公開しており、「発送」したあと買った人はどのような感じているのか、までをウェブストアで見ることができます。

同社のECサイトは、FUNDINNOを利用した際に『透明性があることが価値なんだ』と感じたことにより、取り入れたようです。FUNDINNOの資金調達により、新しく構築したサイトで『何人支援していて、いくら支援が集まっているかを公開』しています。

実際、同社のECサイトの商品紹介ページは、プロダクトの販売ページというより『1つのコンテンツ』を読んでいる感覚になります。木村社長は、『購入型・株式投資型のクラウドファンディングを混ぜることで不特定多数の、皆さんからの監視によって、さらに透明性が出るだろう』と考えているようです。



事例 2 : All yours社

About FUNDINNO



¥ 集まった支援総額

18,096,784円

1809%

目標金額は1,000,000円

👤 パトロン数

718人

🕒 募集終了まで残り

終了



¥ 集まった支援総額

1,665,000円

100%

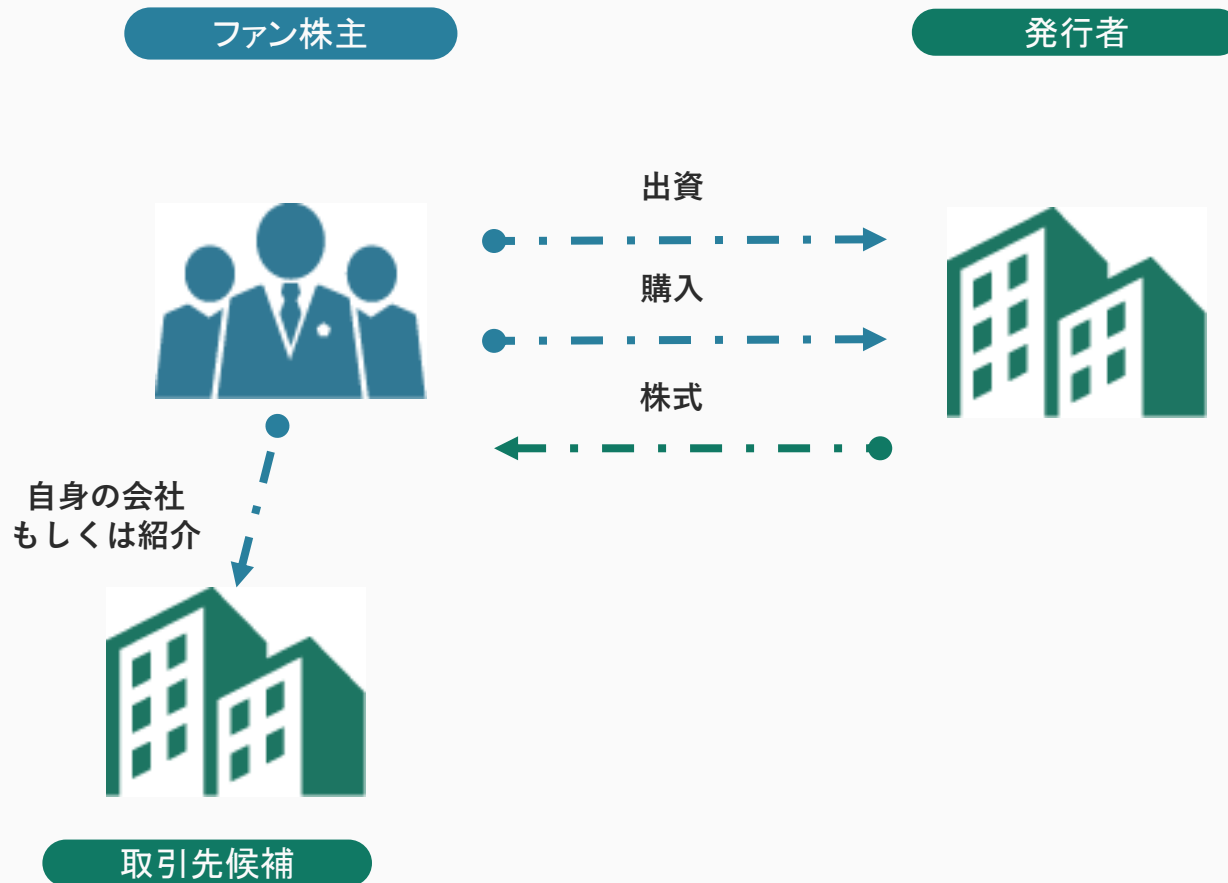
目標金額は1,000,000円

👤 パトロン数

79人

🕒 募集終了まで残り

終了





第9号案件 株式会社ONE ACT浅野裕亮社長 ~エンジニア不足の社会問題を解決したい~

📅 2018年3月27日



会社名	申込開始日時	目標到達日時	上限到達日時 (募集期間終了日)	調達金額	株主
株式会社ONE ACT	2017/10/29 8:20	2017/10/29 8:48	2017/10/29 9:11	29,750,000	167名



FUNDINNOを利用したことによるメリット



馬淵：その他、FUNDINNOによる資金調達で変化はありましたか？

浅野：まさに、FUNDINNO効果と言えるものがありました。

直近で、某銀行より追加融資1000万円が決まりました。今まで、銀行からの融資はありましたが、それは運転資金として私の営業力を信じてくれた側面からの融資でした。

しかし、今回の1000万円の追加融資は、『PIECE』のサービスを167名が応援しているという、当社の事業性・将来性をこの数字から鑑みてくれた融資だと思っています。

FUNDINNOでの資金調達で実施できたこと



馬淵：事業計画の進捗度合いはいかがでしょう。エンジニアの採用状況がスムーズに進んでいるようですね？

浅野：機能面では、ソースコードの価格にAIを導入し、英語・日本語以外の多言語化を進めています。エンジニア採用は事業計画では、4名の採用予定でしたが、2018年3月までに5名採用し、4月に更に2名採用予定ですので計画が上振れで着地しそうです。

4月に採用予定のエンジニアはカメルーンと中国のエンジニアで、彼らを通して、当社のサービスである『ソースコード取引所PIECE』を、アフリカや中国にPRできたらいいなと思っています。



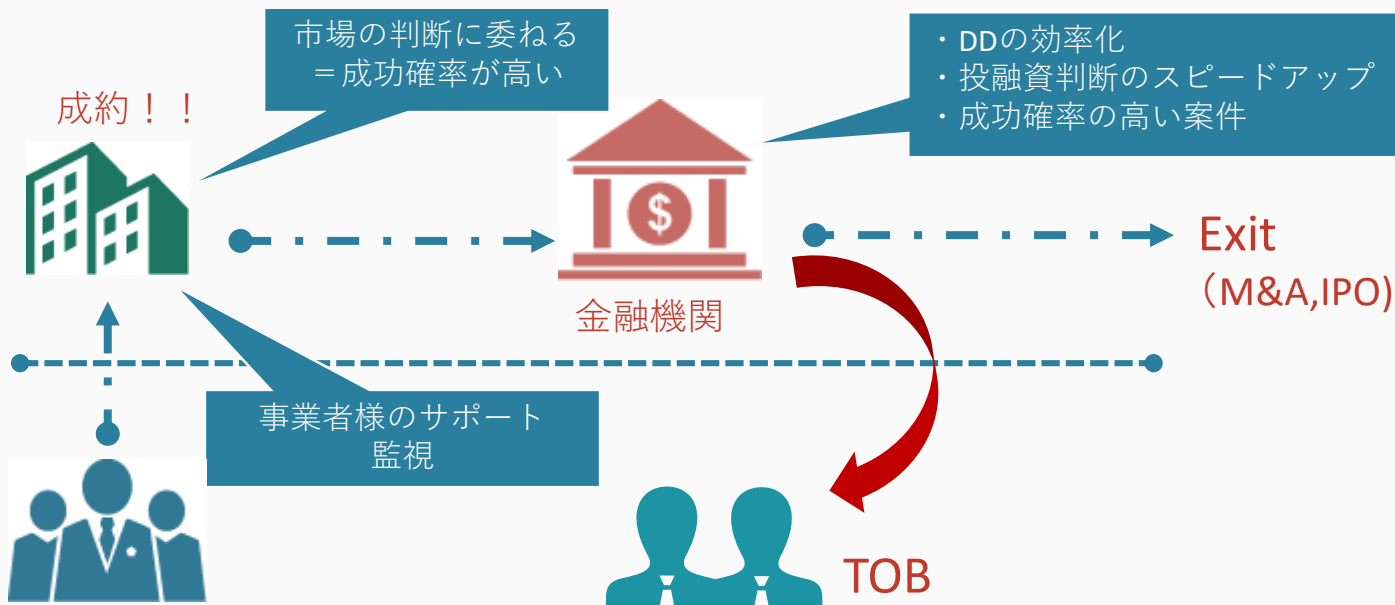
- ① プロトタイピングとして市場に投入できる
(市場に一定のニーズがある)
- ② ユニーク性を評価できる
- ③ 効率的なDDができる
- ④ 女性の意見が反映される



今まで 革新的な企業程、スタートアップ時において資金調達が困難になるケースが多い



これから





今後の展開

クラウドファンディング業界と市場環境についてのご説明



見込み事業者
(リード)



株式型クラウドファンディング



金融機関

VC



補助金、助成金



コンサルティング等



エグゼクティブ層



発行者



リソース



SO,低額顧問料



株式投資型クラウドファンディングを提供する日本クラウドキャピタル、株式会社クラウドワークスと業務提携

FUNDINNOで資金調達を行うスタートアップ企業の人材採用を支援

株式会社日本クラウドキャピタル

🕒 2017年12月5日 11時01分

307		1		...
いいね!	ツイート	はてな	画像DL	その他
シェア				

株式会社日本クラウドキャピタルは、株式会社クラウドワークスと、FUNDINNOで資金調達を行うスタートアップ企業の人材調達における支援について業務提携することを合意いたしました。



『金融関連分野におけるブロックチェーン技術実務適応研究会』の発足

金融関連分野を中心とするビジネス実務にブロックチェーン技術の導入を進め、社会全体における様々な非効率を解消していくことで、金融関連分野のビジネス実務、強いては我が国全体の発展、および我が国の国際社会における地位向上に寄与する。



※幹事株式会社日本クラウドキャピタル
株式会社アイ・アールジャパン
KPMGジャパン
西武信用金庫
みらい証券株式会社

【技術アドバイザー】
東京工業大学 情報理工学院
(田中氏)

【リーガルアドバイザー】
西村あさひ法律事務所
(本柳氏)

テーマ:ブロックチェーンを活用した未上場株の設計



FUNDINNO

ご清聴誠にありがとうございました。

ご注意:本記載の内容は、弊社の業容とその実績をご紹介するものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。